

経営比較分析表（令和4年度決算）

沖縄県 座間味村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	27.54	73.80	2,681

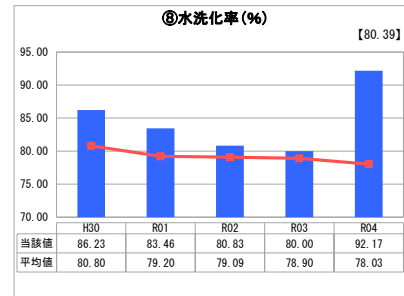
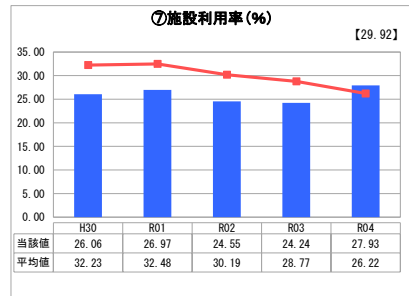
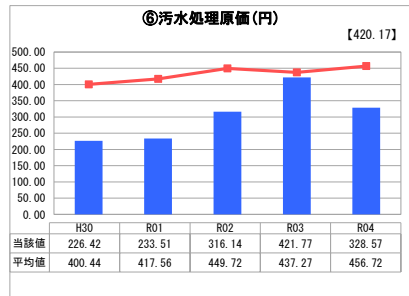
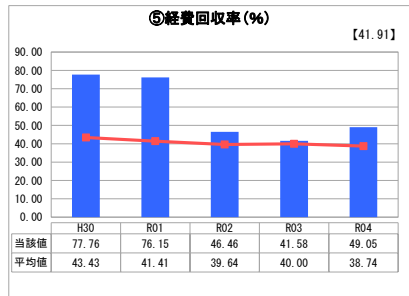
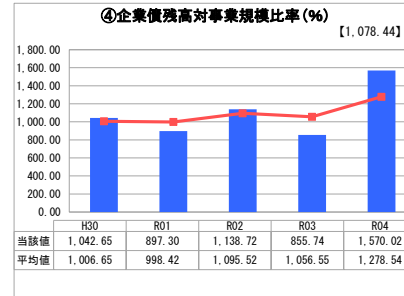
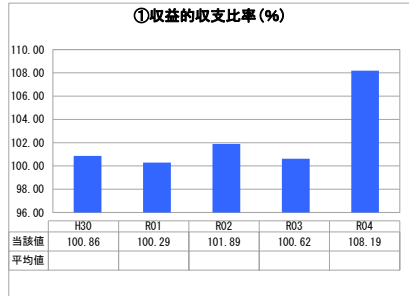
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
895	16.74	53.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
230	0.04	5,750.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
昨年より上昇傾向である。総収益のうち一般会計からの繰入による割合が高いため経営改善が求められる。今後、使用料等見直しも視野に入れた対策が必要。

②、③該当なし

④企業債残高対事業規模比率
昨年より若干の上昇となった。全国「29.92」類似団体「26.22」本村は「27.93」と全国平均より低く、類似団体より高い状況になっている。施設が観光客等が増える夏場や定住者の増加も考慮した施設であるため規模的なものについては問題ないが、人口が少ない処理地区のため利用率の向上が望めない。
(有収率の向上が課題。)

⑤経費回収率
昨年より若干の上昇となった。全国、類似団体の数値を上回る数値ではあるが、使用料による負担は多い為、経費の抑制を行い対策。また将来的には料金改定などの対応を検討。

⑥汚水処理原価
昨年より減少となった。類似団体と比較すると低い状態。今後も処理費への抑制を行い、現状体制の状況を維持。

⑦施設利用率
昨年より若干の上昇となった。全国「29.92」類似団体「26.22」本村は「27.93」と全国平均より低く、類似団体より高い状況になっている。施設が観光客等が増える夏場や定住者の増加も考慮した施設であるため規模的なものについては問題ないが、人口が少ない処理地区のため利用率の向上が望めない。
(有収率の向上が課題。)

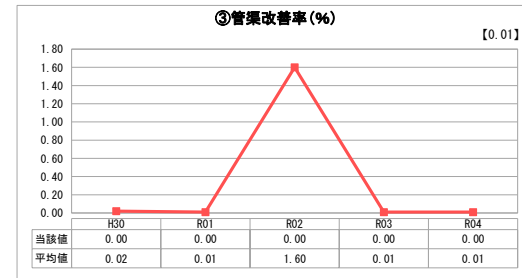
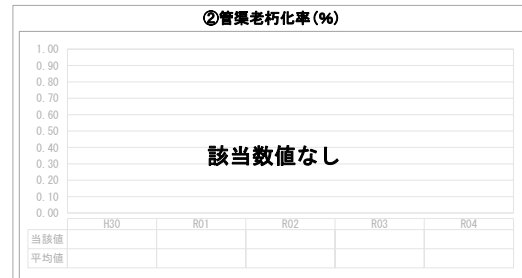
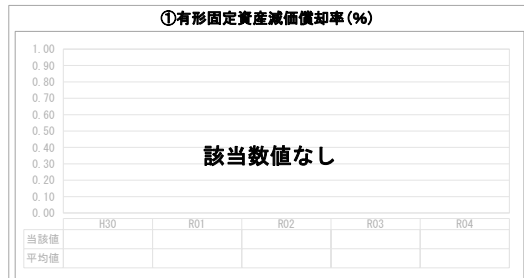
⑧水洗化率
全国「80.39」類似団体「78.03」本村が「92.17」と全国・類似団体より高い状況にある。今後さらなる水洗化率の向上を目指す。(一般世帯への対応。)

2. 老朽化の状況について

①②該当なし。

③管渠改善率・・・管渠等(管路)は共用開始後20年以内と決かったため整備が未実施。
しかし、処理施設における設備機器については対応年数を経過するものもあるため改築更新の計画を今後検討する。(改築更新が今後の課題)

2. 老朽化の状況



全体総括

1. 経営の健全性・効率性において
・収益的収支比率・・・本年度は大幅な上昇となったが、依然として一般会計からの繰入に依存する割合が多いため改善が必要。(対応策として料金改定など検討。)

・経費回収率・・・使用料で賄える割合が低いため、今後改善が必要。(対応策として使用料等の改善が今後望まれる。)

・汚水処理原価・・・有収水量の増加が望めないため、汚水処理費の削減が望ましいが、必要な運営を行っており非常に難しい。(改善策として不明水等への対応検討)

・企業債残高対事業比率・・・本年度は更新工事を行ったことで上昇となった。今後も更新工事に伴う変動が予想される。

2. 老朽化の状況対応について
今後、事業制度を用いた改築更新(管渠設備・処理場)を検討していく。(他地区の処理施設の改築状況を見ながら計画検討。)

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。